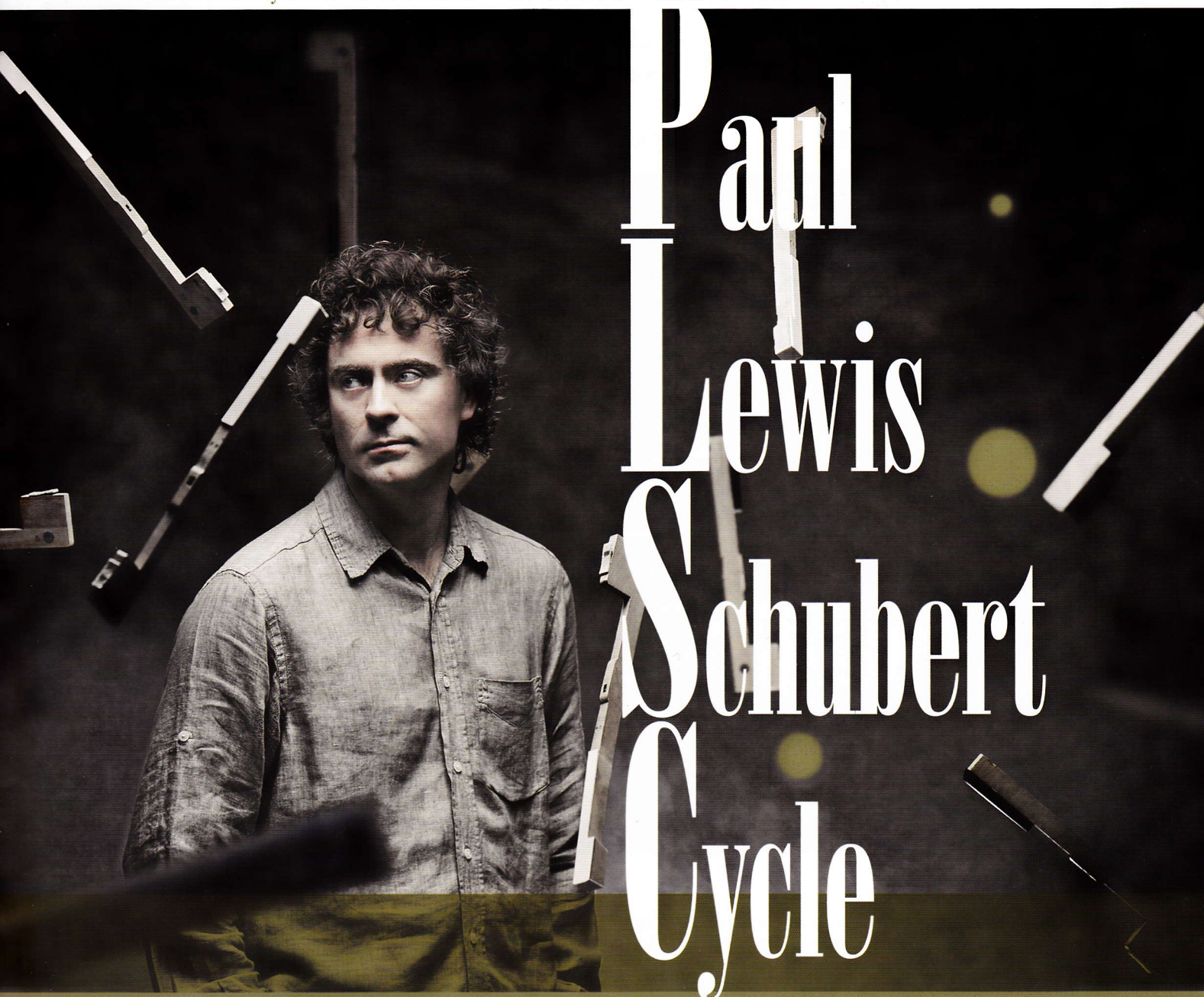




2年越しの旅の終わりに……。

ポール・ルイス [シューベルト・チクルス] Vol.5

Paul Lewis - Piano

2013 **2/2**sat 2013年2月2日(土) 15:00開演 14:00開場

全5回

ピアノ・ソナタ 第19番 ハ短調 D958
Piano Sonata No.19 in C minor, D958

ピアノ・ソナタ 第20番 イ長調 D959
Piano Sonata No.20 in A major, D959

ピアノ・ソナタ 第21番 変ロ長調 D960
Piano Sonata No.21 in B flat major, D960

全席指定 ¥5,000

20th
Anniversary

 OJI HALL

| 2012.9.29 (sat) 10:00 発売

| 王子ホールチケットセンター

| 03-3567-9990

Paul Lewis Schubert Cycle

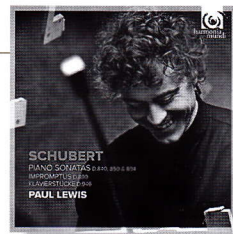
次代の巨匠として近年欧米を中心に着実にキャリアを重ねているイギリスのピアニスト、ポール・ルイスが世界で展開する2年越しのシューベルト・チクルス全5回が、いよいよフィナーレを迎えます。2年間、ポール・ルイスとともにシューベルトの世界を旅してくださった方々に最後の3大ソナタを捧げます。

ポール・ルイス [シューベルト・チクルス] —— 全5回

2年にわたって19世紀最高峰のピアノ音楽に取り組めたことは、大変な名誉です。
シューベルトの音楽には実に多様な心情が描かれており、聴く人は誰もがどこかしらに接点を見出せます。
そして聴き手が音楽のあらゆるディテールを身近に感じられる環境こそが、
シューベルトの表現の深さを味わい尽くせる理想的なコンサート環境といえるでしょう。
あらゆるディテールが重要性を持つなか、王子ホールの親密な空間と音響、そして集中力の高いオーディエンスの皆さんのおかげで、
演奏家は申し分のない環境でこの音楽に語らせ、そして歌わせることができます。
このシューベルト・チクルスを王子ホールで続けられたことはたいへん誇らしいことで、
シリーズの締めくくりとして偉大なる後期3大ソナタを演奏できる日を楽しみにしています。
波乱に満ちた第19番ハ短調に始まり、第20番イ長調の郷愁を経て、第21番変ロ長調の悟りの境地へ——
こうして私たちは19世紀に生まれた素晴らしい音楽の旅を感動とともに終えることになるのです。 [ポール・ルイス 2012年8月]

Profile

リヴァプール生まれ。チェタム音楽学校でリスザルド・バクストに、ロンドンのギルドホール音楽学校でジョン・ハヴィルに師事。その後、アルフレッド・ブレンデルから正式に教えるを受ける。1994年のロンドン国際ピアノコンクールを含め多くのコンクールで成功した後、BBC「新世代アーティスト」に選ばれ、ウィグモア・ホールからヨーロッパ・コンサート・ホール協会の「ライジング・スター」代表演奏家に出選される。シューベルト・ピアノ・ソナタ・シリーズの演奏会がウィグモア・ホールを含め英国中で開催され、高い評価を受けた。また「サウス・バンク・ショウ・クラシック音楽賞」と2003年のロイヤル・フィルハーモニック協会「アーティスト・オブ・ザ・イヤー」を受賞。ハルモニア・ムンディの録音は、04年、05年と2年連続オランダのエジソン賞を受賞。07年、ヨーロッパとアメリカでベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏会を行い、国際的な活動は、ヨーロッパ全域、アメリカ、カナダ、日本、オーストラリアに至る。05年にテレビ放送された「ラスト・ナイト」他、BBCプロムスに定期的に出演、さらにチェルトナムとエジンバラの国際音楽祭、シュヴァルツェンベルクのシューベルト・フェスティバル、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭、リゾールとバンクーバーの室内音楽祭にも定期的に出演。シカゴ響、ウィーン響、ロンドン・フィル、ロンドン響、フィルハーモニア管、ロイヤル・フィル、ロイヤル・リヴァプール・フィル、ボーンマス響、ハレ管、スコットランド室内管、BBC響、バーミンガム響、ウィーン室内管、ケルン室内管、シドニー響、メルボルン響、シアトル響等に招かれ、共演した指揮者は、コリン・デイヴィス、ベルナルト・ハイティンク、クリストフ・フォン・ドホナーニ、マーク・エルダー、チャルズ・マッケラス、ヴォルフガング・サヴァリッシュ、マリン・オルソップ、イヴォール・ポルトン、リチャード・ヒコックス、エマニュエル・クリヴィヌ、アレクサンダー・ボリアニ、ヨゼフ・スヴェンセン、ヴァシリ・シナイスキー、ジェラルド・シュウォーツ等。室内楽奏者として、マイケル・コリンズ、エイドリアン・ブレンデル、シネ・ノミネ四重奏団、レオポルド弦楽三重奏団等と共演。05〜06年シーズンはベルナルト・ハイティンク指揮ロンドン響とベートーヴェンのピアノ協奏曲全曲を、また06年のBBCプロムスでロンドン・フィル、ティル・フェルナーとモーツァルトの2台のピアノのための協奏曲を共演。09年秋、シカゴ響にモーツァルトの協奏曲でデビュー。10年には、夏のBBCプロムスで異なる指揮者、異なるオーケストラでベートーヴェンのピアノ協奏曲全曲を演奏というプロムス史上初の快挙を成し遂げる。最新アルバムはシューベルト・ピアノ作品集 (ハルモニア・ムンディ HMC902115.16)。



シューベルト・ピアノ・ソナタD840,850&894、 即興曲D899他

(ハルモニア・ムンディ 2011年録音 HMC902115.16)

10年ぶりに再開されたシューベルト・ピアノ作品の録音。過去に録音されていなかった第15番、17番、18番を落し穂拾い的に収録しているが、今後、シューベルト最晩年の3大ソナタを含め再録音もあるように聞いている。今回も、研ぎすまされたスティックでクールな音ながら、ヒューマンな魅力を失わないポールのピアニズムの独壇場。既に晩年にさしかかっていたシューベルトのこれらの作品で、鬼気迫る世界の片鱗を感じさせる録音だけに、今回の3大ソナタの実演が実に楽しみである。

ポール・ルイス写真©Josep Molina、裏面演奏写真©王子ホール

●チケットのお問い合わせ・お申し込みは

王子ホール
チケットセンター

03-3567-9990

<http://www.ojihall.jp/>

●発売日とその翌日は、電話とインターネットのみで受け付けいたします。

※発売日は1申し込みにつき1公演4枚までの枚数制限がございます。

※即日完売の場合もございますので、ご了承ください。

※通常営業日:月曜〜金曜 10:00〜18:00 (発売日以外の土曜・日曜・祝日は休業)。

■CNプレイガイド:0570-08-9990 <http://www.cnplayguide.com/>
■ローソンチケット:0570-000-407 <http://l-like.com/> (Lコード:37716)
■e+イープラス:<http://eplus.jp/oji/> (パソコン&ケータイ)

《発売日》2012年9月29日(土)
10:00から発売します。

●お席は全席指定です。●楽章間の入場はできません。●チケットの料金には消費税が含まれています。●未就学児童のご入場はご遠慮下さい。●公演内容については一部変更になる場合がございますので、ご了承ください。

ACCESS

- JR有楽町駅 銀座口より 徒歩7分
- 地下鉄銀座駅 A12出口より 徒歩1分
- 地下鉄銀座一丁目駅 9出口より 徒歩5分
- 地下鉄東銀座駅 A2出口より 徒歩2分



OJI HALL

銀座 王子ホール 〒104-0061 東京都中央区銀座4-7-5

このチラシは王子製紙OKTOPコートマットN第76.5kgを使用しています。

※王子製紙本社は2012年10月より王子HD本館と名称が変わります。

阪急	数寄屋橋交差点	
ソニービル		
(三愛)	和光	銀座通り
銀座四丁目交差点	三越	松屋
有楽町線	三越	王子製紙本社ビル
		OJI HALL
		入口